

# JaSIA

Japanese Society of Independent Appraisers  
日本資産評価士協会

(一社) 日本資産評価士協会

## JaSIA:機械・設備レポートライティングセミナー【基礎講座】 「工場製造ラインの評価テクニックと評価書作成実務」 受講生募集要項

この度、2015年8月8日(土)・8月9日(日)の2日に渡り、以下の内容にて機械・設備のレポートライティングセミナー【基礎講座】を実施致します。今回の講座は、アメリカン・アプレーザル・ジャパンの動産・機械設備評価部門の初代責任者で、日本国内でトップクラスの評価実績、実務経験をお持ちの大島宏樹氏を講師に迎え、「工場製造ラインの評価テクニックと評価書作成実務」を講義と演習を交えて指導して頂きます。1日目は、主要なテクニックを講義と演習を通じて修得し、2日目は工場製造ラインの評価を例に、レポートライティングの基礎について学んだ後、グループワークによる参加者によるディスカッションを行い、評価書作成実務の習得を目指します。

ご存知のように動産・機械設備評価においては、少数の機械のみを評価するのは稀で、通常数百、場合に依っては何万という件数の資産で構成される施設や製造ライン・プラント・工場設備を評価するケースが多くを占めます。このような場合、実査を行う前の事前準備として、資産台帳に記載される大量のデータを分析・分類し評価方針を決定することが重要になります。また、実査終了後は、パソコンによるデータ処理を行い、その結果をもとに評価報告書を作成していきます。

今回の講習では、1日目は、参加者全員にパソコン(エクセル)をご持参頂き、先ず一連の作業に必要な基礎技術を個々に履修し、その後の実際の評価作業演習を通じて、実践的なデータ処理の方法を学んでいきます。2日目は、工場製造ラインの評価書作成に向け、必要記載項目、基準(IVS・USPAP)を学んだ後、レポート3例を題材として取り上げ、グループワークによるディスカッションを行います。

ここで学ぶ評価技法は、大量の品目を対象とする工場財団組成や、減損会計、M&Aに係るPPA(取得原価配分)に向けた公正市場価値の算定等の財務会計の分野で幅広く活用されており機械設備評価の基本となる非常に重要な技法であり、また、本セミナーは、工場の製造ラインの評価書作成の基礎を習得する貴重な機会になります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1. 講座名: 機械・設備レポートライティングセミナー【基礎講座】  
「工場製造ラインの評価テクニックと評価書作成実務」  
※本講座は、2014年に2回(5月・8月)にわたり開催した講座を2日間に凝縮し、内容を一部改訂したものです。
2. 日時: 2015年8月8日(土)、8月9日(日)10:00-16:30(2日間)
3. 開催地: 新宿三丁目貸会議室 501B  
〒160-0022 東京都新宿区新宿3-32-10 T&Tビル 5F  
<http://www.shinjuku-kaigi.com/access.html>
4. 講座内容:  
第1日目:工場製造ラインの評価における基礎知識及びテクニックの履修  
午前  
・評価の基本アプローチ・情報の入手・提案書の作成・質問票の作成・データの事前分析・実地調査の進め方  
・評価作業(分類、取得年の整理、使用する指数の選択、資産のグルーピング、適用する減価テーブルの作成等)  
午後  
・各自、演習問題を通じてデータ処理の方法について履修していきます。  
※ エクセルが搭載されているパソコンをご持参下さい。なお、エクセルの知識は基礎的なもので十分で、高度な知識をお持ちであることを前提としておりません。(実習で使用するエクセルの関数など:日付・文字列操作(LEFT/RIGHT)、検索/行列(LOOK UP)、PIVOT TABLE、フィルタ、並べ替えなど)  
第2日目:評価報告書作成の実務  
午前  
・工場の製造ラインの評価を例に、レポートライティングの基礎について学びます。  
・レポートライティングの必要記載項目、基準(IVS・USPAP)、今回取り上げる評価事例の概要について説明します。  
午後  
・工場の製造ラインのレポート3例を題材として取り上げ、グループワークによるディスカッションを行います。  
※ 今回のセミナーはレポートライティングを中心とした内容となっており、実査は行いません。  
※ 対象レベルは、入門～基礎の方を想定しており、上級者向けのプログラムではございません。

